

《 力学特性 》

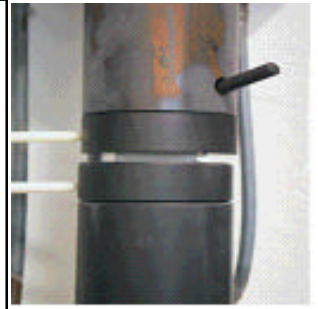


《材料試験》

大気中で 1,600 、真空 / Ar 中では 2,000 までの超高温環境の中で、強度特性(引張、圧縮、曲げ、破壊じん性)が計れます。恒温、恒湿環境での静強度試験も出来ます。変位制御、ひずみ制御、応力制御等の様々な試験方法に対応します。

2,000 の超高温環境中でも、接触式伸び計で直接ひずみを計測できます。

超高温環境での繊維の引張試験も可能です。



可撓断熱材の圧縮試験



繊維の引張試験

《疲労試験》

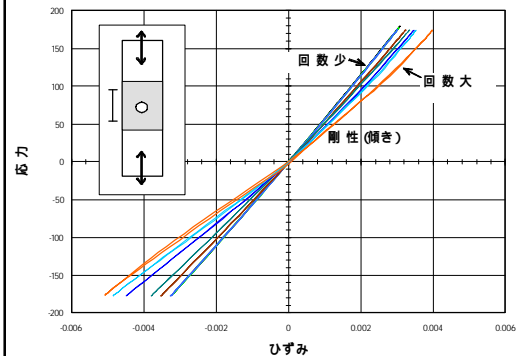
大気中で 1,600 、真空 / Ar 中では 2,000 までの超高温環境中、また、恒温、恒湿環境の中でも、引張 / 圧縮 / 曲げ疲労試験が実施できます。

亀裂進展試験および破壊じん性試験ができます。

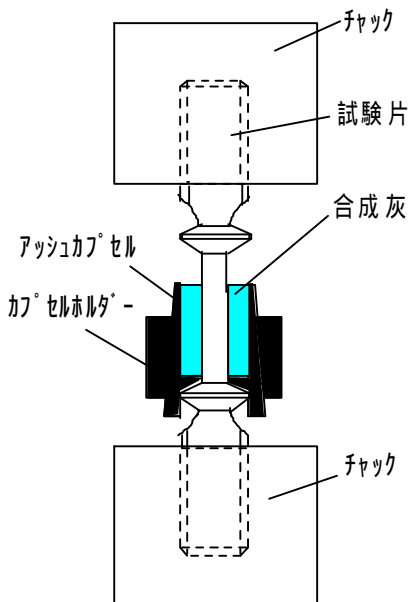
サイン波、矩形波、三角波等の各種波形の他、さらに各種プログラム波形を負荷でき、また、制御方式を切り替えることができます。

高周波コイルによる急熱・急冷環境で熱機械疲労(TMF)試験もできます。

接触式伸び計を使って正確な歪制御の疲労試験ができます。



複合材の疲労回数による剛性の変化



《クリープ試験》

大気中で 1,600 、真空 / Ar 中では 2,000 までの超高温環境中で、引張 / 圧縮 / 曲げクリープ試験が実施できます。

CCD カメラにより、試験片に余分な負荷を掛けずに 2,000 までの歪の高精度な測定ができます。

《複合環境クリープ試験》

$N_2, O_2, CO_2, SO_2, HCl$ ガス及び水蒸気を導入しながら 1,100 までの高温環境下でクリープラプチャー試験が出来ます。

溶融塩カプセルを付けることにより、試験片が溶融塩や飛灰と接触した状況でのクリープラプチャー試験が出来ます。